



# 中友会

[発行所]

**中友会**

港区西新橋1-22-13  
全日本中学校長会館202号室  
東京都中学校長会事務局内  
TEL 03-3504-8705  
FAX 03-3504-8706

会則第2条

● 親 睦  
● 互 助  
● 生涯学習

<http://chuyu-kai.org/>



## コロナ禍での中友会の活動

中友会会長 宇津木 順一

今、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で、人類生存の大きな脅威になっています。我が国においては、太平洋戦争以来の命の危機を身近に考えざるを得ないような深刻な事態を経験しています。同時に世界では、効果的なワクチンや特效薬の開発などに、人間の叡智を結集してしのぎを削っています。その真摯な努力に深い敬意をもつとともに、その叡智の基盤になっているのが教育の力であると考えます。この危機を乗り越え、新たな教育のスタートになることを願っています。

さて、中友会の活動で、まずコロナウイルスの影響を受けたのは、三月七日に予定した「日帰り研修Ⅱ」でした。まだコロナ問題が遠い外国のことのように思われていた二月二〇日、高齢者の会であり、健康安全を第一に考え、既に参加申込を受け、参加費も振り込んでいただいていたことが、中止を決定いたしました。

三月十一日には、臨時幹事会を行い、令和元年度の重点事業である会員名簿改訂と購入会員への送付等の報告、懸案になっている今後の会の運営等に関する課題について協議しました。会員の皆

さまのご協力の下、会員お一人お一人に改めて住所、電話番号等を確認させていただき、1789名の会員が登録された会員名簿を発行することができました。また中友会の課題について検討整理しましたが、会則に関わる内容でもあり、今日の状況から、今年度の総会議案とはしませんでした。

四月八日開催予定の幹事会、会計監査会は中止し、監査は書面により個別に監査をしていただくこと、五月の役員会を書面会議にすること、六月六日の定期総会を十二月に延期することなどを決め、その後、会報と併せて会員の皆さまへ総会延期の通知をお届けしました。五月の書面役員会では、総会提出の議案書を送付し、特に、本年度の事業計画、予算案については暫定的な計画・案として認めていただくようお願いいたしました。

七月になり、更に感染が拡大し、延期した定期総会及び同時開催の忘年会、また、九月以降の本年の役員会を中止せざるを得ないと判断し、総会については、書面での役員会をもって総会に代えさせていただきますことにいたしました。

コロナ禍での今年度の事業活動について記しま

したが、次のような期待、思いを込めて本年度の活動を進めてまいります。

- (一) 今、私たちにとって重要なことは、私たち自身の命や健康を守ることであり、顔を合わせたの活動は難しくなっています。本会の活動のねらいは親睦・互助・生涯学習ですが、改めてこのねらいについて共通理解を深め、ウィズコロナに相応しい新たな中友会の活動への契機の年でありたいと考えます。そして皆さまにとりましても、生活様式の変化を主体的に受け止め、親睦・互助・生涯学習の新たなスタートの年になるよう願っています。
- (二) 本年度の重点事業は、第十八回合祀慰霊祭（令和三年六月五日）の実施です。合祀者の確認、ご遺族、会員への案内、護国寺へお願い、東京都民互助会との打合せなど、多くの準備が必要になります。

一方、今日の状況から円滑な実施について心配なところもありますが、実施を前提に共通理解を図りながら準備を進めてまいります。

(三) 今年の夏は、戦後七十五年を感慨一人の思いで過ごしました。終戦二年後の学制改革で発足した新制中学校は、まさに戦後の学校教育の要として日本の教育をリードしてきました。多くの困難と闘いながら、その先導役を務めたのが中学校長です。その精神は本会章の示す「矜持」と「使命」に表れているように思います。公式記録では見えてこない、この中学校教育のたくましい実践の姿を、中友会で記録に留めたい、そんな願いを改めて深くした夏でした。

活動が制約される日々ですが、皆さまのそれぞれの分野でのますますのご活躍、そしてご自愛を願っています。